

JIS A 1102

## 骨材のふるい分け試験

調査件名 名西ソイル室内試験

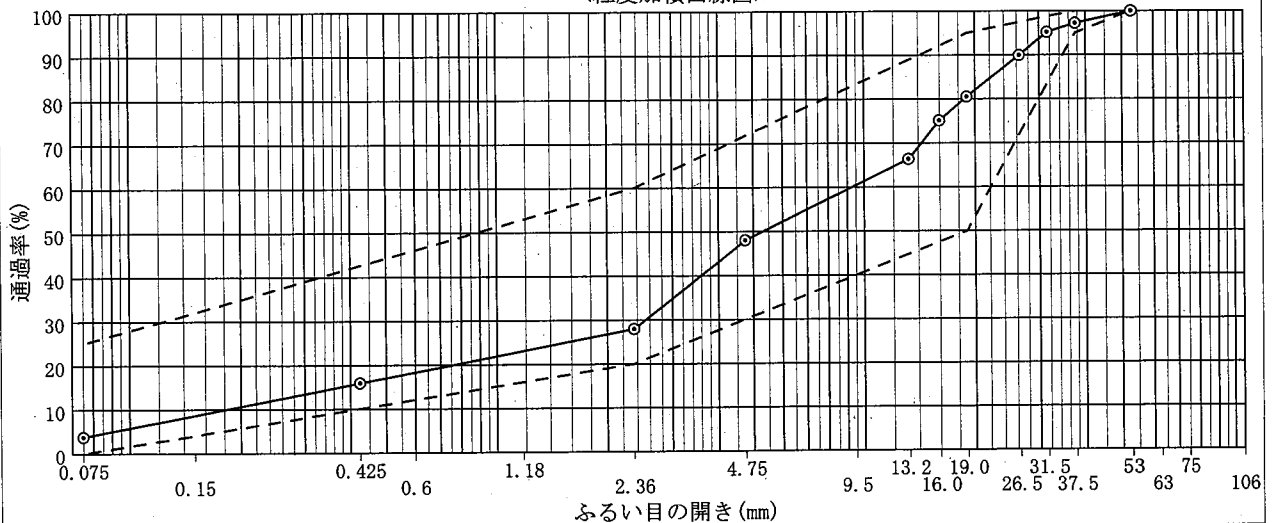
試験年月日 令和6年7月30日

試料名 改良路盤材

試験者

ふるい目の開き (mm)	各ふるいにとどまる 質量(累加) (g)	連続する各ふるいの 間にとどまる質量 (g)	連続する各ふるいの 間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいにとどまる 質量分率 (%)	各ふるいを通過する 質量分率 (%)
106					
75					
63					
53	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
37.5	80.8	80.8	2.8	2.8	97.2
31.5	138.2	57.4	2.0	4.8	95.2
26.5	290.2	152.0	5.3	10.1	89.9
19.0	558.8	268.6	9.4	19.5	80.5
16.0	712.9	154.1	5.4	24.9	75.1
13.2	965.7	252.8	8.8	33.7	66.3
9.5					
4.75	1488.4	522.7	18.3	52.0	48.0
2.36	2065.0	576.6	20.1	72.1	27.9
1.18					
0.6					
0.425	2408.7	343.7	12.0	84.1	15.9
0.15					
0.075	2756.6	347.9	12.1	96.2	3.8
以下(受皿)	2864.1	107.5	3.8	100.0	0.0
計	2864.1	2864.1	100.0		

〈粒度加積曲線図〉



備考 ※空白のふるい目については試験は行っていません。

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試 験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	--------------------------

調査件名 名西ソイル試験室  
採取日 令和6年7月29日

試験年月日 令和 6年 7月 30日

試料番号 (深さ) 即時

試験者

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称	改良路盤材			
突固め方法	即時CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 $w_n$ %	10.8			
試料準備	準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数 回/層	67	最適含水比 $w_{opt}$ %			
	空気乾燥前含水比 %	10.8	突固め層数 層	3	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>			
	試料調製後含水比 $w_0$ %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5	
			高さ <sup>1)</sup> cm	12.5	モールド容量 $V$ cm <sup>3</sup>	2209		
供 試 体 No.								
含 水 比	容器 No.	15	13	9				
	$m_s$ g	3047.5	2890.4	2854.1				
	$m_w$ g	2811.5	2668.4	2636.9				
	$m_1$ g	626.8	631.7	626.0				
	$w_1$ %	10.8	10.9	10.8				
	平均値 $w_1$ %	10.8	10.9	10.8				
密 度	(試料+モールド) 質量 $m_2$ g	12101	12119	12125				
	モールド質量 $m_1$ g	7371	7400	7402				
	湿潤密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.141	2.136	2.138				
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.932	1.926	1.930				
吸 水 膨 張 試 験	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0							
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96							
	(試料+モールド) 質量 $m_3$ g							
	膨 張 比 $r_s$ %							
	湿 潤 密 度 $\rho'_s$ g/cm <sup>3</sup>							
	乾 燥 密 度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>							
	平均含水比 $w'$ %							

特記事項

- 1) スーパーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_s = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_s = \frac{m_3 - m_1}{V(1 + r_s/100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + r_s/100}$$

$$w' = \left( \frac{\rho'_s}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 名西ソイル試験室  
採取日 令和6年7月29日

試験年月日 令和 6年 7月 30日

試料番号 (深さ) 即時

試験者

試験方法	締固めた土, 乱れ土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	改良路盤材
突固め方法	即時CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	10.8
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	67	自然含水比 $w_n$ %	10.8
試験条件	本浸, 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	日水浸		高さ <sup>1)</sup>	cm	12.5	

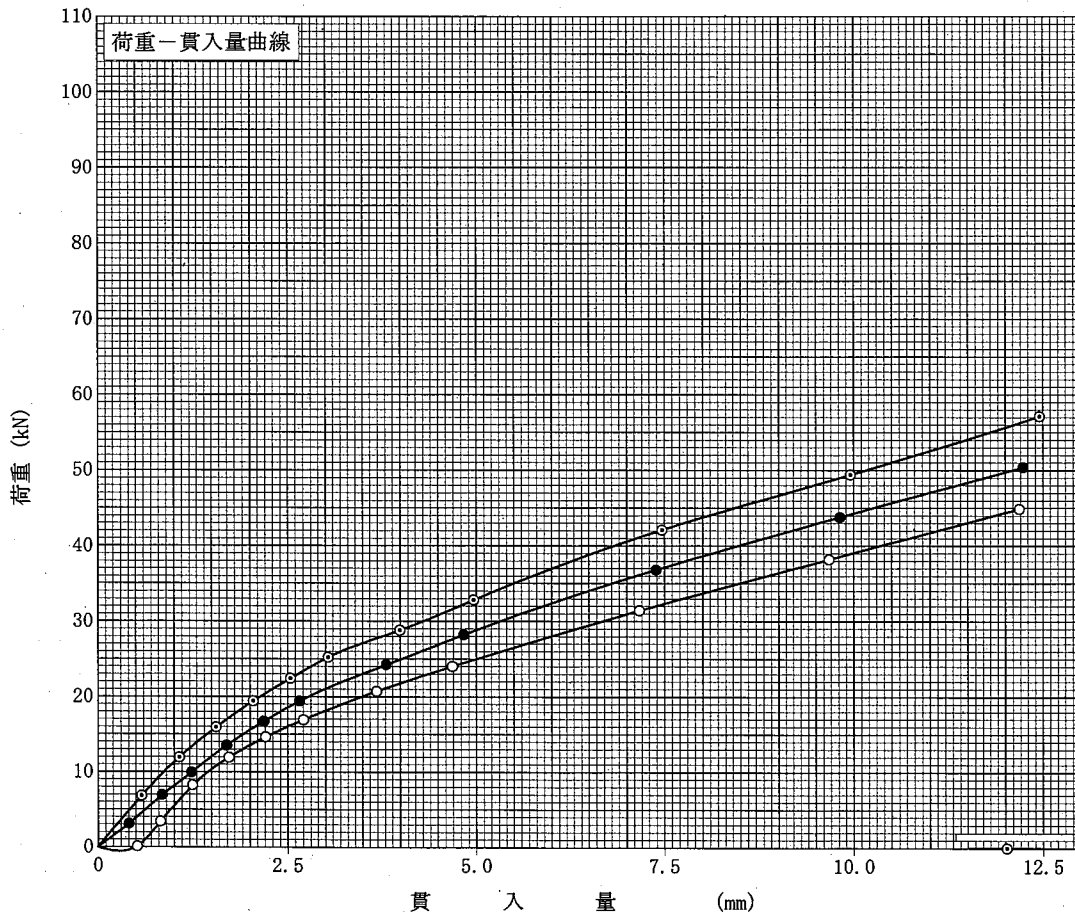
供試体 No.				
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	10.8	10.9
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.932	1.926
	後	膨張比 $r_s$ %		
		平均含水比 $w'$ %		
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>		
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %			
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		119.4	138.1
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		125.6	144.7
	C B R %		125.6	144.7

平均 C B R %

145.3

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]

[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
供試体 No.	16.0	25.0
	18.5	28.8
	22.2	32.9
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9